



災害は忘れる前にやって来る

4年前の10月25日豪雨の被害を二度と起こさないために

鹿島川と高崎川の改修工事

【鹿島川に砂州出現！】

9月8日、台風13号で佐倉市に大雨が降ったあと、突然、鹿島川に砂州が出現しました。

砂の量は推定12000m³。

撤去費1億4000万円。



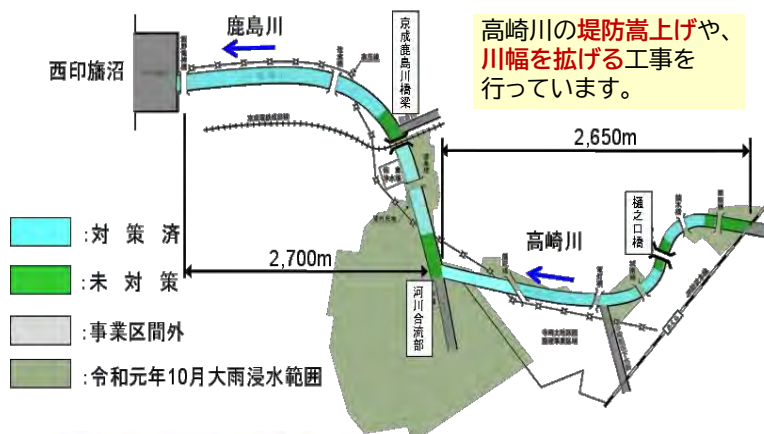
鹿島橋から。10/21

原因は、大雨により大量の土砂が、高崎川から運ばれてきたと考えられています。再び豪雨になれば、砂州があるため川の水が田町・城内町へ溢れやすくなり、心配です。県は土砂の緊急撤去工事を行う予定ですが、急ぐよう求めました。

2019年10月
25日豪雨。
田町の住宅街
も浸水しました。



【2019年10月25日豪雨の後の改修工事】



高崎川の川幅の拡大

10/7 熊谷知事と意見交換しました

～主な5項目～

1 「多様性尊重条例」案について

ネはネット、知は知事

ネ 本条例案の趣旨には賛成するが、男女共同参画に特化した条例の策定にも引き続き取り組んで頂きたい。

知 まずはスタートラインに立った。今後、男女共同参画を推進する内容を包含した条例として、充実させていく。

2 自衛隊基地のPFAS(有機フッ素化合物)

ネ 8月10日に行った調査で、PFAS 濃度の高い下手賀沼の用水路の上流部に、海上自衛隊下総基地があった。泡消火剤の使用実績や基地周辺の詳細な調査をお願いしたい。

知 これまで PFAS の調査研究を行ってきた千葉県環境研究センターの情報公開に努める。

3 第8次千葉県保健医療計画

ネ 新型コロナで浮きぼりとなった医療ひっ迫への対策や、医師の労働環境の改善を、第8次医療計画にどう反映していくのか。

知 コロナ禍での経験で得た教訓を、計画に活かしていく。感染予防計画を2024年に改定する。医師の多すぎる時間外労働の改善に取り組む。



今回の意見交換会では、13項目を取り上げました。全項目は以下のQRコードからご覧下さい。



4 疲弊する介護現場

ネ 高齢化が進む一方で、経営難で撤退する介護事業所が増えている。ヘルパーやケアマネも人手不足。このままでは介護難民が増えるが、対策は？

知 ICTを活用した介護ロボットなどを導入し、介護に関わる人の負担軽減に取り組む。

5 地域活動支援センター

ネ 当センターは、佐倉市でメンタルに問題を抱える人の居場所となるNPO法人で、通所できない利用者も多い。リモート参加も利用実績に入れてほしい。

知 市町村の判断になるが、実態把握に努める。

安全な通学路・生活道路を！



台風13号襲来の翌日、裏新町の通学路を点検しました。佐倉小の児童100人近くが通う通学路ですが、崖くずれの心配があります。2011年の大震災で崖が崩れたあと、フェンスを並べただけで、補修は進んでいません。引き続き、市議と連携し、改善策を要請していきます。

京成佐倉駅北側の横断歩道。白線が消えています。市内各地でこのような箇所が増えています。県警に、早急な対処を求めました。



介護現場は今… 施設訪問

コロナ禍や燃料費高騰で、電気代が年間1000万円も増えるなど、経営が苦しい介護施設が増えています。昨年度、全国の特養の62%が赤字で、倒産、廃業、休業が最多を記録。高齢化が進む中、介護難民の増加が心配です。10月29日「エコトピア酒々井」を訪問し、現場の声を聴きました。

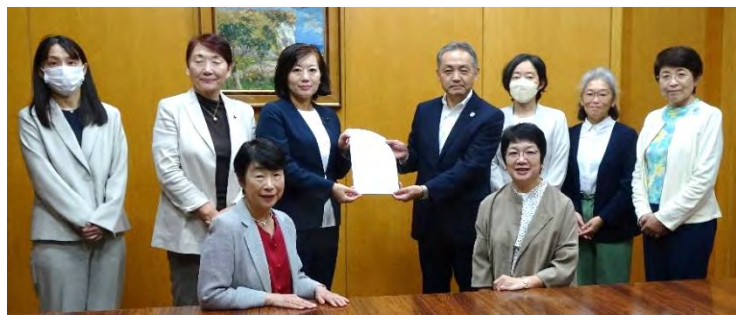
千葉県には財政的支援を求めています。



2024年 予算要望書を県に提出 10/12

市民ネットワークは、毎年千葉県に予算要望書を提出しています。市民ネット会員は、担当課との勉強会に参加し、意見交換ができます。更に市民団体からの切実な声も反映し、要望書を作り上げています。

2024年度予算要望には、感染症対策、食の安全、教職員の確保、DV被害者支援など、暮らしに密着した項目を盛り込み、県に提出しました。



要望書の全項目はこちらから。



困窮者支援 ～支えあい、寄り添う



佐倉市の福祉事務所で、生活保護申請の同行支援中。非常に良い対応でした。

コロナ禍の影響で、仕事や住まいを失う人が後を絶ちません。これ以上頑張れないときにセーフティネットとなるのが生活保護です。

食糧支援や、生活保護申請の同行支援を続けています。

教育費 重すぎる保護者負担

日本の子どもの貧困率は11.5%。先進国の中で最悪の水準です。中でも教育費の負担が、困窮家庭に重くのしかかっています。授業料だけ無償ではなく、給食費や学用品などを無償化するように、声をあげていきます。

年間一人当たり（2021年度）	公立小学校	公立中学校
学校教育費（学用品、部活動遠足、修学旅行等）	65,074 円	132,349 円
学校給食費	39,010 円	37,670 円
学校外活動費（塾や習い事）	247,582 円	368,780 円
合計	352,566 円	538,799 円

文科省調査

オーガニック給食の実現を



佐倉市には有機生産者が多く、土台はあるのですが、市のリーダーシップが足りません。市議・県議の連携で、有機給食の実現に取り組めます。



オーガニック給食の先進地韓国を訪問したご報告書が完成。ご希望の方は下の連絡先へ。

川口えみのプロフィール

- ◆秋田県出身 1979年生まれ 現在44歳。都留文科大文学科卒業
- ◆生活クラブ生協佐倉ブロック運営委員を経て、2019年佐倉市議初当選
- ◆2023年4月の統一地方選で、千葉県議会議員初当選（1期目）環境生活警察常任委員会所属
- ◆市民ネットワーク千葉県共同代表、「ファイバーリサイクル佐倉」運営委員、「平和・立憲会議」千葉県世話人。夫と長女（11歳）、柴犬

連絡先 市民ネットワーク千葉県

〒260-0013 千葉県千葉市中央区4-10-11 アイビル4F

電話・FAX 043-201-1051

mail : info@chiba-kennet.com

